



十六銀行

十六アジアレポート 2020年2月号

JUROKU ASIA REPORT FEBRUARY 2020

2020年2月3日 発行

十六銀行 法人営業部 海外サポート室

目次

1. シンガポール:「チャイニーズニューイヤー2020」
シンガポール駐在員事務所 富田邦裕
2. タイ:「Everyday Say No To Plastic Bags」
バンコク駐在員事務所 堀江幸康
3. 上海:「春節大移動、今年は30億人規模」
上海駐在員事務所 村瀬範晃
4. ベトナム:「BIDV ジャパンデスクについて」
ベトナム投資開発銀行ジャパンデスク 川畠宏保
5. 為替相場情報

本書中の情報は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては全てお客様御自身でご判断くださいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行及び執筆者はその正確性を保証するものではありません。また、本書中の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。

1. シンガポール:「チャイニーズニューイヤー2020」

シンガポール駐在員事務所 富田邦裕

多民族国家のシンガポール。国民の7割を占める中華系の旧正月（春節）は盛大に祝います。今年は1月25日（土）～27日（月）でした。特に中心部チャイナタウンではカラフルな干支のモチーフも登場し、人々の熱気に包まれていました（写真①）。今回は春節の文化にスポットを当ててみます。

春節の数週間前より各地で開運アイテムを売る特設テントが並び、赤や金色が目を引きました（写真②）。また縁起の良いものを食べて、一年の幸せを願う風習が定着していることから、魚、麺、飴、餅、パイナップルタルト、ピーナッツ等もありました。特にポークジャーキーのバクア（写真③）は欠かせず、有名店では行列ができました。

やはり春節の定番料理といえば、新鮮な刺身や千切りにした野菜が大皿に盛り付けられた「魚生（ユーシェン）」です。テーブルを囲む全員で「ローヘイ」と唱えながら、長い箸で具材を高く上げれば上げるほど良いといわれ、この時期ならではの風物詩となっています。

旧正月中はマリーナベイの特設会場でも様々な祝賀行事が行われ、福の神や干支の手作りランタンや、シンガポール特有のライオンダンス等が披露されました。花火も約3分間打ち上げられましたが、邪気を払うものとして爆竹のような爆音が特徴でした（写真④）。会場にはミニ遊園地も設置され、地元の人々と観光客で大変賑わいました。

一方で正月モードが終わった日本人等の外国人駐在員にとって春節の期間中は商業施設の休みも多く、日系スーパーも休みとなるなど少し不便に感じました。近所の中華系寺院も閉まっているのは驚きました。現地では1月1日は単なるナショナルホリデーであり、2日から会社は始まります。外国人にとって1月に2回正月を迎えるのは、大変違和感を感じました。なお今年は新型コロナウイルスの影響でマスクをしている人々が多く見られました。常夏のシンガポールでは湿度が高くマスクをするとさらに汗を掻きます。

現地では2月中旬まで多民族文化を織りなすパレード等も開催予定であり暫くお祭りムードは続きます。やはりシンガポールでは中華系の影響が強く、日本から海外販路拡大を狙う事業者にとって重要な要素であります。特に食べ物において、甘味は「幸福な人生」を象徴し、その他にも長寿や健康、金運を呼び寄せるなど、ひとつひとつに意味が込められていました。赤色や金色、発音まで縁起を重要視する文化も根付いていました。以上を考慮して戦略を立ててみてはいかがでしょうか。



2. タイ:「Everyday Say No To Plastic Bags」

バンコク駐在員事務所 堀江幸康

タイ王国では今年1月1日から、主要な小売店舗において、プラスチック製レジ袋を配布しないキャンペーンがスタートしました。Central、Tesco Lotus、BigC など大手デパート各社や、7-ELEVEN などのコンビニエンスストア各社が、この取り組みに参加しています。2021年までにタイ王国全土の小売店舗がプラスチック製レジ袋を廃止することを目的として、活動が進められています。その目的は「海洋に投棄されるプラスチック製ゴミを減らすこと」です。

■一頭のカジラの死がプラスチック製ゴミへの問題意識の芽生えに

タイ王国天然資源・環境省（MNRE: Ministry of Natural Resources and Environment）公害監視局（PCD: Pollution Control Department）によれば、年間200万トン以上のプラスチック製ゴミが国内で発生しており、約100万トンが海洋に投棄されるなど不適切な方法で処理されています。

そんな中、2018年5月、マレーシアとの国境に近い南部の運河で、衰弱したゴンドウカジラのオスが発見されました。懸命な救助活動の甲斐なく、発見から6日後にそのカジラは衰弱死するのですが、解剖の結果、体内から80枚以上のプラスチック製レジ袋など、約8キロのプラスチック製ゴミが発見されたのです。これらが胃に詰まり、エサを食べられなくなったことが原因であると見られています。このニュースはタイ王国全土を駆け巡り、それ以降、国内でプラスチック製ゴミの問題への関心が高まる契機となりました。



『Everyday Say No To Plastic Bags』

75の企業が参加し活動が進められている。

■ASEAN 首脳会議での『バンコク宣言』採択

2018年12月から、一部大手デパートがプラスチック製レジ袋の削減運動をスタートさせました。昨年4月には、タイ王国政府が、2022年までにレジ袋などを段階的に廃止することなどを盛り込んだ、プラスチック製ゴミ削減のロードマップの草案を承認しました。

この流れを受けて、昨年6月ASEAN首脳会議において、ASEAN地域から大量に流出しているプラスチックなど海洋ゴミの削減に関する連携の拡大を謳った『バンコク宣言』が採択されました。同時に発表された行動指針では、各国が重点的に取り組むべき分野と推奨する活動が明示されました。ASEAN加盟国は、今後、海洋ゴミ削減の対策や科学的な調査の実施が求められることとなります。

『バンコク宣言』を採択したASEAN首脳会議の閉幕後、タイ王国政府は直ちに上述の『Everyday Say No To Plastic Bags』を打ち出しました。

■タイの人々の意識にも変化が

独立系の国家開発管理研究所（NIDA: National Institute of Development Administration）が1月10日に発表した「プラスチック製レジ袋の配布中止に関する調査結果」によると、賛成する人の割合は8割を超え、その大半が自分自身でバッグを用意したと回答しています。プラスチック製レジ袋の配布中止は、タイの方々から広く支持を集めたように思われます。

今、世界では廃プラスチック削減の流れが非常に大きくなってきています。タイの人々に芽生え始めた「環境意識」は、タイ王国をより良い方向へ導いていってくれるような、そんな気がします。

3. 上海:「春節大移動、今年は30億人規模」

上海駐在員事務所 村瀬範晃

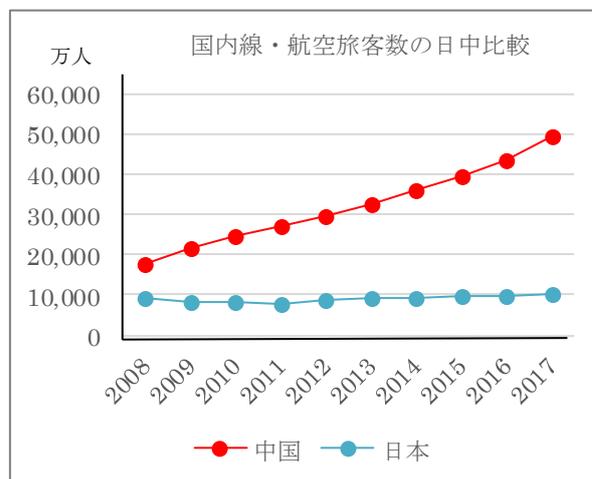
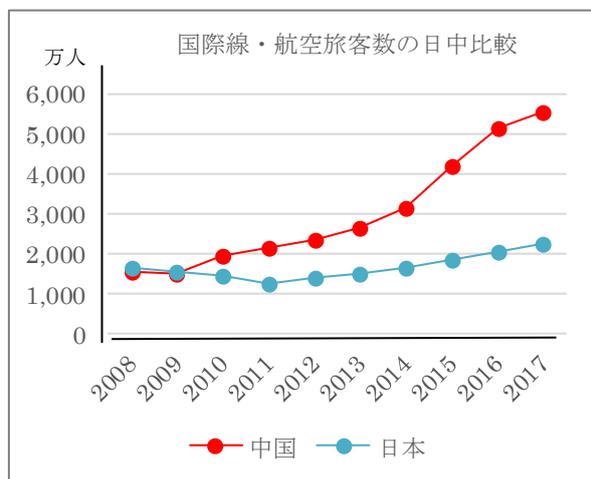
中国では毎年11月～12月頃に、中国国務院（中国政府）弁公庁から翌年の祝日が発表されます。2020年の春節（旧正月）は1月25日で、その日を挟んだ前後1か月程、毎年「春節大移動」が行われます。今回は中国の春節（旧正月）を含めた旅行者の増加についてご紹介したいと思います。

■「春運」期間中の旅行者は30億人規模

春節（旧正月）に伴う交通機関の特別体制は「春運」と称され、1月10日から2月18日にかけては特別な体制が敷かれます。地方から都心に出稼ぎに来ている人々は年に一度、春節の時に帰省するため民族大移動さながらの「春節大移動」が巻き起こります。また近年は所得の向上に伴い、都心部に住んでいる若者を中心に国内外を問わず、旅行をする人も増加傾向にあります。こういった理由により今年の「春運」期間中の総旅客数は30億人規模になると予想されています。また当該期間中の航空旅客数は、前年の春運比8.4%増の延べ7,900万人に達するとの予測もされています。因みに海外の渡航先で渡航者数が多いのは、日本、タイ、韓国の順となっており、対前年比の伸び率ではフィリピン、ベトナム、日本がトップ3となっています。

■増え続ける旅行者

2008年以降で76もの空港が新たに開港したことも相まって、飛行機を利用した旅行客数も年々増え続けています。また、日本政府観光局（JNTO）が発表した2019年1月から11月の累計訪日中国人数も、前年同期比14%増の888万人となり、過去最高を更新しました。いまや、春節や国慶節に限らず中国人旅行者は増え続けており、今後も年間を通じての増加が予想されています。



【出典】中国統計年鑑、航空輸送統計調査(年次)

■所感

私がこのレポートを執筆した後に春節が始まりましたが、今年は春節期間中に新型コロナウイルスの感染が急拡大したしたことにより状況が大きく変わってしまいました。おそらく旅行者数も1月、2月ともに前年割れとなりそうです。もちろんインバウンドをはじめとした日本経済への影響も甚大です。そして駐在員や現地社員、取引先を含めて安全の確保が懸念されます。いまは一刻も早い事態の収束を願うばかりです。

4. ベトナム:「**BIDV ジャパンデスクについて**」

ベトナム投資開発銀行ジャパンデスク 川島宏保

筆者は2019年12月より、BIDV（正式名称：ベトナム投資開発銀行）ジャパンデスクの一員としてベトナムに派遣されました。2013年11月にジャパンデスクが発足してから6年の歳月が経過しており、十六銀行の行員としては5代目のトレーニーです。

オフィスは、ハノイ屈指の観光スポット、ホアンキエム湖の南部に広がるハイバーチュン区にあるピンコムセンター14階にあります。そこで、ベトナムで事業を展開されるお客様にとって必要不可欠となる、現地法人の銀行口座開設サポート、開設後の運用サポートを基本業務として活動しております。

また、同じハノイ市内にある十六銀行ハノイ駐在員事務所と連携を図り、各種情報提供を中心にお客様の事業展開をご支援する活動にも注力しております。

■**BIDV** について

BIDVは、1957年に政府100%出資のもと、設立されたベトナム建設銀行を前身としており、現在においても政府出資比率は80.99%と国営色が強い銀行です。本店は、政府機関が収集するベトナム北部の首都ハノイ市にあり、全国に190支店、871出張所の拠点、法人取引先27万先、個人取引先1千万先の顧客を有するベトナム国内屈指の大手商業銀行です。

<BIDV概要>

商号	株式会社ベトナム投資開発銀行 (BIDV)
設立	1957年4月26日
本社	Hanoi市 Hoan Kiem 区 Hang Voi通り 35 BIDVタワー
総資産	600.7億USD
預金残高	454.7億USD
貸出残高	457億USD
取引先数	法人取引先：27万先、個人取引先：1千万先
国内拠点	190支店、871出張所
海外拠点	支店：ミャンマー、駐在員事務所：ラオス、カンボジア、台湾、ロシア

*規模：2019年6月末時点



*本社写真：BIDV HPより

■**BIDV ジャパンデスクの活用について**

2013年11月の設立当初、1人（現当行ハノイ事務所長）であったジャパンデスクのトレーニーは現在では計17名（ハノイ5人、ホーチミン12人）まで増加しています。BIDV本部ホールセール部門のFDI（Foreign Direct Investment/海外直接投資）バンキング部に属しており、日系企業との金融取引拡大を主要KPIに位置づけて活動しています。設立当初、110社程であった日系取引先企業数は現在800社程と年間100社を上回るペースで増加しています。

一方、銀行取引に関する外資規制については、徐々に緩和の傾向はみられるものの、口座開設手続きは依然として煩雑です。BIDV ジャパンデスクには日本語に堪能なベトナム人スタッフも揃っており、口座開設時のみならず、開設後の運用についてもしっかりとサポート出来る体制が整えております。既にベトナムにて事業展開されている方、これからベトナムへの進出を検討している方々と現地でお会い出来ることを楽しみにしております。



（*写真左より筆者、ロンFDバンキング部長、ハージャパンデスク長）

5. 為替相場情報

(1) 人民元一円為替相場(中国人民銀行公表仲値)

(単位:1人民元当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
12月23日	15.61768	12月24日	15.59941	12月25日	15.61183	12月26日	15.66711	12月27日	15.67767
12月30日	15.67570	12月31日	15.60403	1月1日	-	1月2日	15.61037	1月3日	15.58118
1月6日	15.47509	1月7日	15.55355	1月8日	15.55912	1月9日	15.70302	1月10日	15.79230
1月13日	15.82128	1月14日	15.94769	1月15日	15.96551	1月16日	15.97061	1月17日	16.00179
1月20日	16.04390	1月21日	16.05704	1月22日	15.96399	1月23日	15.93829	1月24日	-



上記表、及びグラフはこの公表仲値を便宜的に1人民元当たりの日本円へ換算し直した相場です。

そのため、正式な人民元相場が必要な場合は、中国人民銀行にお問い合わせ下さい。

(2) ドルー円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
12月23日	109.42	12月24日	109.47	12月25日	109.35	12月26日	109.58	12月27日	109.68
12月30日	108.56	12月31日	-	1月1日	-	1月2日	-	1月3日	-
1月6日	108.11	1月7日	108.44	1月8日	107.83	1月9日	109.24	1月10日	109.57
1月13日	-	1月14日	110.16	1月15日	109.95	1月16日	109.95	1月17日	110.33
1月20日	110.19	1月21日	110.24	1月22日	109.91	1月23日	109.72	1月24日	109.59



(3) タイバーツ-円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1バーツ当たりの日本円)

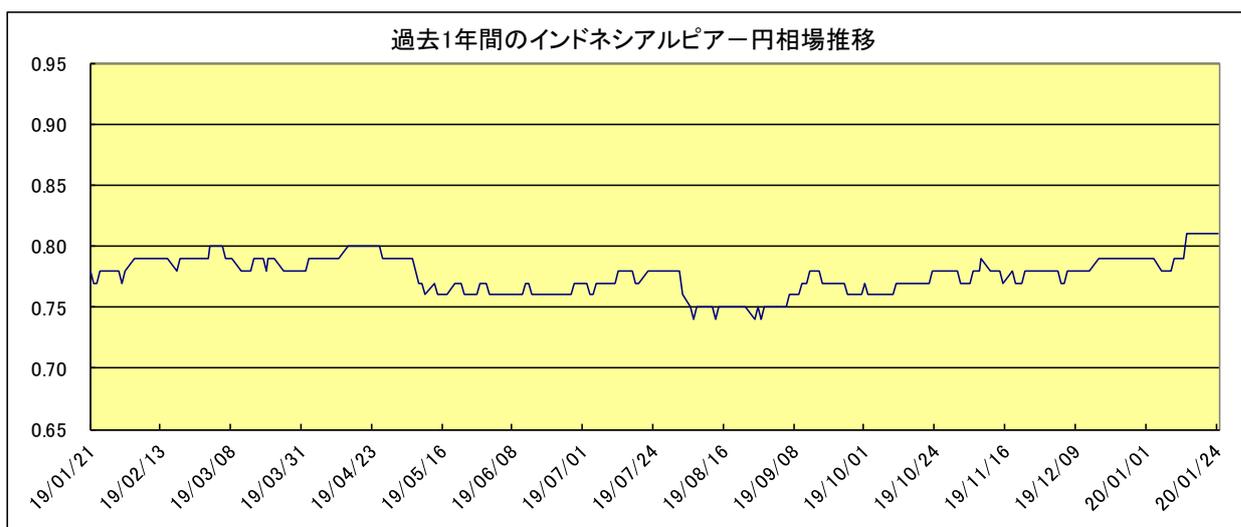
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
12月23日	3.6300	12月24日	3.6300	12月25日	3.6300	12月26日	3.6400	12月27日	3.6400
12月30日	3.6300	12月31日	-	1月1日	-	1月2日	-	1月3日	-
1月6日	3.5800	1月7日	3.6000	1月8日	3.5600	1月9日	3.6100	1月10日	3.6200
1月13日	-	1月14日	3.6500	1月15日	3.6400	1月16日	3.6400	1月17日	3.6400
1月20日	3.6300	1月21日	3.6400	1月22日	3.6200	1月23日	3.6100	1月24日	3.6000



(4) インドネシアルピア-円為替相場(参考値)

(単位: 100ルピア当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
12月23日	0.7900	12月24日	0.7900	12月25日	0.7900	12月26日	0.7900	12月27日	0.7900
12月30日	0.7900	12月31日	-	1月1日	-	1月2日	-	1月3日	-
1月6日	0.7800	1月7日	0.7800	1月8日	0.7800	1月9日	0.7800	1月10日	0.7900
1月13日	-	1月14日	0.8100	1月15日	0.8100	1月16日	0.8100	1月17日	0.8100
1月20日	0.8100	1月21日	0.8100	1月22日	0.8100	1月23日	0.8100	1月24日	0.8100



(5) シンガポールドル-円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
12月23日	80.7100	12月24日	80.7700	12月25日	80.6800	12月26日	80.9000	12月27日	80.9900
12月30日	81.0700	12月31日	-	1月1日	-	1月2日	-	1月3日	-
1月6日	80.1300	1月7日	80.3700	1月8日	79.7800	1月9日	80.9200	1月10日	81.1000
1月13日	-	1月14日	81.8600	1月15日	81.5900	1月16日	81.6600	1月17日	81.9500
1月20日	81.7700	1月21日	81.8500	1月22日	81.3900	1月23日	81.3500	1月24日	81.1400



(6) ベトナムドン-円為替相場(参考値)

(単位:1000ドン当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
12月23日	4.7200	12月24日	4.7200	12月25日	4.7100	12月26日	4.7200	12月27日	4.7200
12月30日	4.7200	12月31日	-	1月1日	-	1月2日	-	1月3日	-
1月6日	4.6600	1月7日	4.6700	1月8日	4.6500	1月9日	4.7100	1月10日	4.7200
1月13日	-	1月14日	4.7500	1月15日	4.7400	1月16日	4.7400	1月17日	4.7500
1月20日	4.7500	1月21日	4.7500	1月22日	4.7400	1月23日	4.7300	1月24日	4.7200

